

Webex Meetings スイート 41.4

Cisco は、今後数週間以内にお客様のサイトを **Webex Meetings スイート 41.4** にアップグレードします。

完全なリリーススケジュールについては、[リリースカレンダー](#)を参照してください。

41.4 の機能ハイライト

グリッドビューのズームインとズームアウト



ビデオの拡大縮小がより柔軟にできるようになります。デフォルトで、**Webex Meetings** デスクトップアプリのグリッドビューはミーティングのユーザー数に基づいて自動的に調整されます。このアップデートでは、新しいスライダーを導入し、表示するビデオの数をいつでも、より細かく調整できるようになりました。ズームインしてビデオを大きく表示するか、またはズームアウトして、同時に多くのユーザーを表示できます。

ステージビューのカスタマイズ

新しいカスタマイズ可能なステージを使用すると、表示対象をいつでも簡単に制御できます。スタックビューまたは左右2列ビューの場合、参加者をフィルムストリップからステージに簡単に移動できます。これは、参加者をより大きく表示したり、共有されているコンテンツのすぐ隣にアクティブなスピーカーを配置したり、積極的な発言をしていないユーザー(手話通訳者など)を表示したままにしたりする場合に便利な方法です。



マウス操作で、ビデオをフィルムストリップからステージにドラッグするか、移動したいユーザーの[その他のオプション]メニューから[ステージに移動]を選択します。共有コンテンツまたはアクティブスピーカーに加えて、最大4つのビデオをステージに追加できます。

主催者または共同主催者としてステージをカスタマイズすると、自分の表示を同期して、ミーティングに参加する全ユーザーのデフォルトステージビューにすることができます。

上記はハイライトのみでしたが、もっと多くのことができます。

機能の完全な一覧と詳細については、「[Webex Meetings の最新のバージョンの新機能](#)」を参照してください。

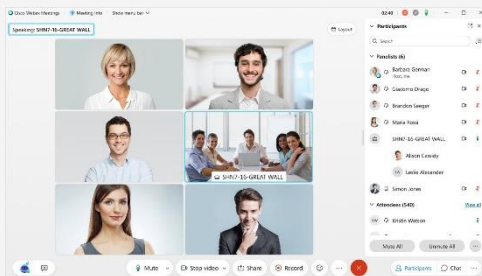
41.4 リリースサイクルで後ほど提供される機能

これらの機能は、別のリリースサイクルで使用可能となります。
各機能の使用可能性については、[リリースカレンダー](#)に掲載されます。

Webex Events の刷新

サブスクリプションに応じて、最大 3,000 人の参加者に対応する刷新された Webex Events サービスを追加します。クラシックバージョンの Webex Events は引き続きお客様のサイトで利用できます。Webex Events（新）では、ビデオを中心とした、インテリジェントで使いやすい、クラス最高レベルのバーチャルイベント体験をご利用いただけます。

Webex Events（新）では、主催者は Webex サイトのホームページまたは Meetings のページからイベントをスケジュールできます。主催者は、新しいスケジューラで 2 つのモードから選択できます。インタラクティブで非常に魅力的なエクスペリエンスを提供するイベントモードと、出席者とのやりとりを制限したイベント向けのウェブキャストモードです。ウェブキャストモードは、3,000 人が参加できる Webex Events ライセンスのある主催者にのみご利用いただけます。いずれのモードにも次の機能が含まれます。



- プレゼンタは、モーションおよびビデオ用に最適化されたコンテンツをコンピューター音声とともに共有できます。
- すべての出席者がパネリストのビデオおよび共有コンテンツを表示できます。
- スケジュール時またはイベント中に、イベント参加者の管理をサポートする共同主催者を指定できます。
- ホストは、すべての出席者のステージビューを設定できます。録画のレイアウトは、主催者の [録画] > [基本設定] オプションに従います。

一部の Webex Events（クラシック）機能はまだ利用できませんが、今後のアップデートで利用できるようになります。これには、イベントモードの出席者テレフォニー音声オプション、登録および出席レポート、出席者のインポート、登録自動承認ルールなどが含まれます。

注意: 刷新された Webex Events のリリース日は、決まり次第、4 月の[リリースカレンダー](#)でお知らせします。この機能の[RSS フィード](#)に登録して、公開状況に関するアップデートを受け取ってください。

新しいスケジューラ、イベントモード、ウェブキャストモードの詳細については、「[Webex Events（新）](#)」を参照してください。

コンテンツ共有向けの新しい AV1 コーデック



Alliance for Open Media の新しい次世代ビデオコーディング形式を Webex Meetings のデスクトップアプリに追加しました。このコーデックは AV1 と呼ばれ、既存のコーデックより少ない帯域幅で優れたユーザーエクスペリエンスを提供できるように最適化されています。

このアップデートでは、共有が [モーションとビデオに最適化] に手動で設定されている場合に、このコーデックをサポートする機能が追加されました。このコーデックでコンテンツを共有するには、少なくともクアッドコアプロセッサが必要です。AV1 で共有されるコンテンツを受信するには、少なくともデュアルコアプロセッサが必要です。この最初のアップデートでは、ミーティングのすべての参加者が、このコーデックを使用するための最小要件を満たす必要があります。

AV1 が正常にネゴシエートされると、コンテンツの共有開始時に、AV1 のロゴがすべての参加者に 5 秒間表示されます。

通知

Mac 版生産性向上ツールのサポート終了



Mac 版生産性向上ツールの最終リリースは、41.5 となります。Microsoft が 5 月中旬から [Mac Outlook](#) での [インジェクションベースのプラグインをブロック](#) する予定であるためです。Mac 版の Outlook をご利用中で、Webex の使用を希望するお客様は、[Microsoft 365 版の Cisco Webex スケジューラ](#) に移行してください。

Webex 生産性向上ツールは、Webex Meetings デスクトップアプリとは別の製品です。Mac 版生産性向上ツールは、IBM Lotus Notes、IBM Sametime、Microsoft Lync、Internet Explorer、Skype for Business とのインテグレーションのサポートを終了しました。

Webex スケジューラアドインへの移行に関して詳しくは、「[生産性向上ツールから Webex スケジューラアドインに移行する](#)」のヘルプ記事をご確認ください。

Java クライアントのサービス終了の通知



2021 年 4 月 1 日に EoS (サービス終了) に達する 3 つの Java クライアントがあります。1 つ目は、Linux オペレーティングシステムでユーザーが、Webex Meetings、Webex Training、Webex Events にアクセスできるようにするツールです。2 つ目は Mac ユーザー向けの Webex Support です。3 つ目は、Internet Explorer (IE) ユーザー向け Java アプレットです。EoS は、これらのアプリが利用できなくなったり、更新を提供したり、これらのツールのサポートを提供したりしなくなりました。ただし、すでにダウ

ンロードされている場合は、それらは引き続き機能します。これらのアプリの最良の代替は、ウェブ上で **Webex** を使用する方法です。



保存された電話番号を使用して、主催者として **Webex** でスケジュールされたミーティングを開始、または参加する

6月（41.6）のアップデート以降、電話のみを使用するユーザー向けに、**Webex** でスケジュールされたミーティングを電話から開始できる機能を追加します。電話から **Webex** でスケジュールされたミーティングを開始するユーザーは、ホスト PIN とともに電話番号を検証する必要があります。主催者として電話でミーティングを開始、または参加できるようにするには、ユーザーは [基本設定]>[音声とビデオ]>[マイ電話番号] の順に移動して自分の電話番号を保存してください。

最新の **Webex** バージョンの新機能について教えてください。



次の
最新機能オンライン クラス
に参加して、詳細をご覧ください

[View Schedule](#)

[Release Notes](#)

41.4 のリリース通知を別の言語で参照するには、
[ローカライズ版リリース通知をご覧ください](#)

新しい最新リリースと通知 RSS フィードに登録して、次のヘルプ記事を参照してください。

[最新リリースと通知の RSS フィードをサブスクライブする方法](#)



[通知](#)



[リリースノート](#)



[カレンダーのリリース](#)



[オンラインクラス](#)



[サポートへお問い合わせ](#)